





審査結果報告書

平成 26 年 2 月 4 日

主 査 氏 名	小泉和郎	
副 査 氏 名	岡本浩嗣	
副 査 氏 名	宮地 鑑	
副 査 氏 名	阿古 雅哉	

1. 申請者氏名 : DM10009 大久保博世

2. 論文テーマ :

Leukotriene B4 type-1 receptor signaling promotes liver repair after hepatic ischemia/reperfusion injury through the enhancement of macrophage recruitment (ロイコトリエン B4 type-1 受容体シグナルはマクロファージの集積増強により 肝虚血再灌流障害後肝修復を促進する)

3. 論文審査結果 :

肝虚血再灌流は肝切除術、肝移植術、hypovolemic shock などでは回避できないものであり、その後の再灌流肝障害は臨床的に問題となる。特に肝虚血再灌流障害からの肝再生・修復過程が遅延すると術後肝障害ひいては肝不全に至り患者の予後を規定することになる。

肝虚血再灌流障害からの肝修復過程にはマクロファージが関与している。ロイコトリエン B4(LTB4)はマクロファージの走化因子であり、その受容体 BLT1 はマクロファージに発現している。そこで、肝虚血再灌流障害後の肝修復に果たす BLT1 受容体の役割について検討し、肝虚血再灌流後に障害肝へマクロファージを集積させて肝再生因子 EGF を産生して肝組織修復を促進させる役割を果たしている可能性が示唆された。

本研究は医学博士学位請求のための研究および論文として高く評価されるものと審査員全員の合意を得た。